

0901
T



ごあいさつ

伸びゆく都留市、明るく住みよい都留市を象徴するにふさわしい市庁舎が、明治100年の意義ある年に完成をみましたことは、市民のみなさま、本市を郷土とされるみなさまのご協力と工事関係者の献身的なご努力のたまものであります。

さいわい、みなさまの熱意あるご協力により、都留文科大学の建設をはじめとして、文教都市の名にふさわしい教育環境の整備拡充に、産業の振興に、交通網の整備に、つぎつぎに生ずる重要問題の処理に、全力を傾け、あらゆる事業は順調に遂行され、ここに市制施行14周年を迎えました。

市民への十分なサービスを念願とする市にとりまして、市庁舎の建設は残された大きな課題でありました。

この設計にあたりましては、あくまで市民本位の観点に立ち、明るく親しみやすい雰囲気を盛り込むとともに、本市のシンボルにたるものをと、広く識者に意見を求め、市議会の賛同を得て、昨年3月着工しました。

わたくしどもは、新庁舎の落成を機に、公務員としての自覚に徹し、市民の福祉増進に努力する決意を新たに、みなさまのご期待にそう覚悟であります。

みなさまの市政に対する倍旧のご協力をお願い申し上げます。

昭和43年5月23日

都留市長 前田 清明



ごあいさつ

このたび都留市庁舎がめでたく完成の日を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

雄大な富士と美しい甲斐の山並を背景に水の豊かな環境の一角を都留文科大学に引続き新市庁舎の計画をさせて頂く光栄に浴し感激にひたりつつ鋭意

設計を進めさせて頂きました。設計にあたっては申すまでもなく市政を中心としての公共庁舎は厳粛にして市民に親しまれる建物でなければならないと同時に、近代的事務処理機構に充分対応出来る自由な空間を出来るだけとよう心がけたつもりです。よって間取りはコアシステム（中央部に階段、化粧室、湯沸室、パイピングエリア等を集めて耐震壁で囲む方法）という方法で、出来だけ大きい部室をつくることにより、現在そして将来進歩発展する市民サービスが容易に受け入れられるように考えた次第です。

この設計及び工事監理の期間中に御繁忙にも拘らず市長さん、建設委員、または担当職員の方々の御見識ある御指導と御理解を得られ、又困難な工事にも終始一貫、鹿島建設の卓越せる技術陣のチームワークと熱意によりましてここに落成の日を迎えられた事は私どもとしりまことに冥加につきるものであります。

市庁舎の完成を契機とされ、都留市の更に一層の御繁栄の途を歩まれますよう衷心よりお祈り申し上げます。

昭和43年5月23日

株式会社 加藤明建築設計事務所

代表取締役 加藤

昭和四十四年 五月 三日
氏より 寄贈





ごあいさつ

このたび都留市民待望の都留市庁舎がめでたく竣工いたしましたことを、衷心よりお祝い申し上げます。

さる昭和41年8月公立都留文科大学新築工事の完成に引き続き、42年3月当市庁舎建設のご下命をいただき、施工に着手いたしましたより1年有余、ここに当初の予定どおり、お引き渡しできましたことは当社にとりまして、この上もない喜びとするところであります。

完成しましたこのしょうしゃなデザインの庁舎は、市民の皆様により親しまれる能率的な行政の殿堂としてその機能を十分に発揮し、市民の生活の向上に大きく貢献するものと確信するものでありまして、市長殿をはじめ、建設委員殿および市当局のご努力に対し、深甚の敬意を表するものであります。

施工に当たりましては、当社はその技術を結集し、皆様のご期待に添うべく誠心誠意努力いたしてまいりましたが、幸いに所期の成果を収め、今日の喜びを迎えることができた次第であります。これもひとえに、市長殿をはじめ建設関係者各位、設計監理に当たられました加藤明建築設計事務所殿および関係諸官庁ならびに地元の方方のご理解あるご指導、ご協力の賜ものであり、ここに厚くお礼申し上げます。

終わりにのぞみ、都留市の一層のご発展をお祈りいたしましてごあいさつといたします。

昭和43年5月23日

鹿島建設株式会社

取締役会長 鹿島守之助

